

赤色系防虫ネット等によるアザミウマ類の侵入抑制効果

福島県農業総合センター 生産環境部 作物保護科

1 部門名

花き—その他の球根—病害虫防除、施設資材

2 担当者名

山内富士男、松木伸浩、岸正広、三本菅猛

3 要旨

近年は色や光による昆虫行動制御の研究により、従来の資材では効果が期待できなかったような広い目合いでも微小害虫に防除効果のある防虫ネット資材が販売されている。この赤色系防虫ネット（0.8mm目合い）や光反射資材織り込み防虫ネット（6mm白帯が15mm間隔配置）を活用したダリア現地試験の結果、アザミウマ類に対する高い侵入抑制効果が明らかとなった。

- (1) 試験は塙町のハウス栽培ほ場で行い、資材は赤色系防虫ネット（サンサンネット® e-レッド SLR2700：赤白ネット、クロスレッド XR-2700：赤赤ネット）と光反射資材織り込み防虫ネット（スリムホワイト 45：光反射ネット）を使用し、植付前にハウス側面へ設置した。
- (2) 3～4月に植付を行い、5月に出芽し、7月上旬～8月上旬に開花（収穫）する作型である。
- (3) この防虫ネットを設置することで、特に開花期間はアザミウマ類を低密度に抑えることができ、農薬散布を低減（ネット無の半分以下）することができた（図1、2）。
- (4) この防虫ネット設置で、ダリアの花や葉でもアザミウマ類成幼虫の寄生は少なかった。
- (5) m²当たりの単価は赤ネット160円、赤赤ネット170円、光反射ネット300円（参考価格）。

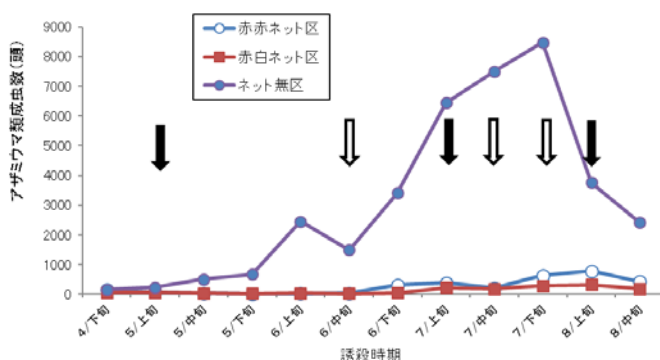


図1 青色粘着トラップによるアザミウマ類誘殺消長(2018年度)

注) 黒矢印は全区薬剤散布、白矢印はネット無区のみ薬剤散布
注) アザミウマ類成虫数はホリバー3枚の合計値

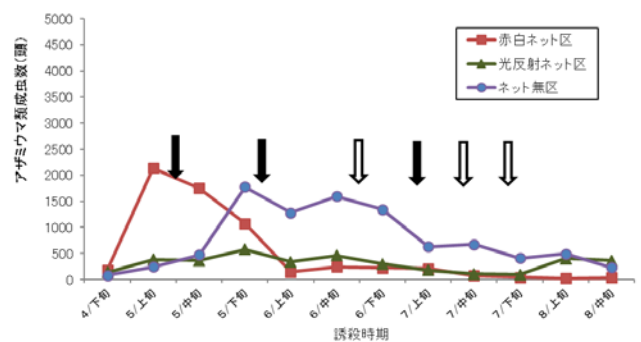


図2 青色粘着トラップによるアザミウマ類誘殺消長(2019年度)

注) 黒矢印は全区薬剤散布、白矢印はネット無区のみ薬剤散布
注) アザミウマ類成虫数はホリバー3枚×2箇所平均値

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成30年度～令和元年度
- (2) 研究課題名 新奇・難防除病害虫に対する防除技術の開発

5 主な参考文献・資料

- (1) 徳丸 晋・伊藤 俊, 新型赤色系防虫ネットの各種微小害虫に対する防除効果, 植物防疫, 72(3), p.12-15, 2018.